

これを言うだけで相手からの好意が爆上がりする…

本人だけが土にする感謝の念”を表す「パワーワード」

応援される人は何をしているのか。どんなに能力がある人でも、部下や同僚の協力がないと仕事は成り立ちません。周囲の人から好意を集めて応援される人は、常に意識の中に感謝の念を持ち、日本人の美德を表す『おかげさま』という言葉をお口にしているようです。

■「感謝」をお口にできない人はやがて淘汰される

ビジネスシーンにおいても感謝の言葉は大切です。

なぜなら、感謝の言葉をしっかりお口にできるかできないかで、周囲の人があなたに向ける評価が大きく変わってくるからです。例えば企業においては、部下は上司の指示で動くのが基本です。そもそも自分ひとりですべてを切り盛りしている個人事業主なら話は別かも知れませんが、企業における仕事は、多くのスタッフと協業の上に成り立っており、どんなプロジェクトであれ、上司からの指示がないまま、部下が勝手に仕事を進めることは、ほとんどありません。

つまり、どんなに能力がある人でも、部下や同僚の協力がないと仕事は成り立たないのですから、仕事をする上で、常に意識のなかに、仲間に対する感謝の念を持っていないければ成功は望むべくもないのです。

にもかかわらず、なかにはどうしてもそれができない人（仲間への感謝の念を持ってない人）がいます。

そして、何人か部下を抱えるようになったとたんに、「俺は部下に仕事を与えてやっている、面倒をみてやっている」と思い込む人が出てくるのです。それは日頃の態度に必ず出ます。部下に対して傲慢な態度で接し、プロジェクトが上手くいっても、それを当然のこととして、「ありがとう」の一言も言えないのです。

でも、そこで厳しい評価が下されます。そんな上司についていく人はいないでしょう。あくまで仕事だから表面的に従うことはあっても、意気に感じて積極的に動いてくれたりはしません。

つまり、感謝の言葉をお口にできない人は、けっして“人望＝評価”を得られません。そういう人間は、厳しい言い方をしますが、やがて淘汰され、消えていくのです。

■「お疲れさま」だけでは言葉が足りない

逆に、仲間に感謝の気持ちをきちんと言葉にして伝えられる人は、それだけでまわりからの人望を集め、徐々に評価を高めていきます。組織の中では、仕事の能力ばかりで評価が決まるわけではありません。むしろ、上に行けば行くほど、「感謝」をベースにした人望力のほうが重視されることが多いのが現実です。

そうしたことを考えると、「みんながいてくれるから自分の存在がある」という事実をしっかりと自覚したうえで、感謝することを決して忘れてはいけないということになります。そして「お疲れさま」だけではなく「お疲れさまでした。ありがとうございました」と心をこめた感謝のひとことを添えることで、思いが伝わり次の仕事を頼んだ時にも喜んでひきうけてくれたらうれしいし、ありがたいのです。あなたも「ありがとう」で、もっと信頼の輪を広げていきませんか？

■「小さな感謝」を積み重ねる

感謝の気持ちを表すにはいろいろな方法があります。

お世話になった時に、感謝の思いを込めたお礼の手紙を書くのも良いでしょう。手紙では大げさだと思えば、メールやSNSでメッセージを送っても良いと思います。また、本当に助けてもらった時は、感謝の気持ちをきちんと形にして、お礼の品を贈っても良いでしょう。でもそれよりも良いのは、感謝の気持ちを言葉にして伝えることです。それが基本であり、「小さな感謝の積み重ね」が何より大切なのです。

スキルアップ通信 VOL.159

■「凡事徹底」がチャンスを引き寄せる

「凡事徹底」とは、なんでもない当たり前のことを徹底的に行うこと。感謝することはまさにそうするべきです。感謝とは、自分を振り返り、いかにたくさんの人の存在の上に成り立っているかを自覚することから生まれる“当たり前の感情”です。その当たり前のことを日々徹底して、言葉にしたり、行動にしたりして示していくことが大切なのです。

■見せかけの「ありがとう」は必ず見透かされる

残念なのは、見せかけの感謝の言葉を口にする事です。心のコもっていない「ありがとう」は誰の心にも響きません。例えば、上司に対しては忠実ぶりを発揮するくせに部下に対しては横柄な人、あるいは社会的地位のある人にはひたすらおもねるくせに、そうでない人には歯牙にもかけない人の「ありがとう」は信じる事ができないと思います。表情、態度、話しぶり…見せかけの「ありがとう」は必ず見透かされます。感謝の気持ちの根底にあるのは、相手への敬意、リスペクトする心です。上下関係に囚われず、性別や年齢に関係なく接すること、その姿勢が大切です。

人生を好転させたかったら、なんでもないような小さな感謝を凡事徹底し、積み重ねて行くべきなのです。そして実践している人のまわりには”信頼の輪“が広がっていきます。そしてその信頼の輪はさまざまなチャンスを引き寄せてくれるでしょう。

■日本人の美德「おかげさま」はパワーワード

感謝の気持ちを伝える際のパワーのある言葉「おかげさま」。「おかげさま」は、他人から受けた助力や親切に対して感謝の気持ちを表す言葉。漢字で書くと「お陰様」ですが、「陰」とは、神仏などの偉大な存在を示しており、「神仏の陰の下で庇護を受ける」ことに、敬称（様）をつけて「おかげさま」となったようです。つまり本来は、利益や成功があった時に「神仏から恩恵を受けた」という意味で使用された言葉なのです。日本人は古くからこの「おかげさまで」という言葉を日常的に使ってきました。いまでも地方に行けば、たとえば道ですれ違った時などに「おかげさまで暖かくなって良かったですね」などと会話しているのをよく耳にします。自然に対しても感謝しているのです。これは、四季に恵まれた島国の自然とうまく調和して生きてきた日本人の特質だと思いますし、このように神羅万象に感謝の念を抱けるのは、日本人の美德とも言えるでしょう。

自分に好意を持ってくれる相手に対し、自分も好意を抱くのはいうまでもありません。逆に言えば、きちんと感謝の思いが伝わってこそ、相手も共感し「これからも応援してあげよう」と思うようになりま

す。だから「おかげさま」が大切なのです。 プレジデントオンラインより



今期からペット扶養手当が新設されました。

7月から新たな期が始まり、福利厚生の一環として「ペット扶養手当」新設されました。ペットも大切な家族の一員。その家族の為、ささやかながらペットのいる家庭に毎月ペット手当を支給する事となりました。申請時に提出してもらった写真を見ているだけでも“癒され”ます。名前は「ちくわ」「はんぺん」「きなこ」「わさび」等の食べ物系でおでん種が多いみたいです。こんな可愛い家族が待っていると思うと、家に帰るのも楽しみになりますね。今年の夏は特に暑いのでペット達も熱中症予防が必要です。🌀